

福岡県教育庁 福岡教育事務所管内 市町村立小中学校 先進校視察研修団を迎えて

平成28年12月13日(火)に、福岡県から中学校教員12名と教育委員会職員3名を迎えて視察研修を実施しました。本研修は、秋田市教育委員会を通じて、福岡教育事務所から受入の依頼があったもので、当日は、授業参観と学校経営説明、学習指導・生徒指導に関する協議を行いました。参加者の皆様から授業参観後の感想をいただきましたのでご紹介いたします。

- ・ ちょうど、生徒同士が交流している場面でした。4人で顔をつきあわせて、それぞれしっかりと自分の考えを述べていて、好感がもてました。グループ内でまとめたことを発表するとき、Aさんは一番始めに挙手し、堂々と大きな声で説明し、全体へのお手本となる発表でした。クラス全体が温かい雰囲気、全く私語のない中なので小さな声での発表も聞こえ、みんなで聴こうとする様子が素敵と感じました。
- ・ 誰一人、私語をすることなくノートに記録していたのが印象的でした。教室環境が整っていて、ロッカー、本棚等もきれいでした。特に、背面黒板がきれいで素晴らしいと思いました。Kさんは、先生が板書された内容に加え、仲間の発言を聴いてノートに記録していました。向学心があって素晴らしいと思いました。
- ・ クラスの仲間が立って発言するときは、発言者に体を向けて聴いたほうがよいと思いました。(本校では、「正対」と言ってます。)
- ・ 数名の生徒は、ノートに記録する際、ほとんどシャーペンで記入していました。板書に色チョークを使っているところは、色ペンで記録するようにしましょう。
- ・ 素直で吸収力のある生徒と見えたので、英語の授業は、教員も生徒も英語を使う機会を増やすとさらによいのではと感じました。
- ・ Bさんが「わからない」と素直に言える姿、そして、それにCさんが応えて根気強くつきあって教えている姿が印象的でした。
- ・ 細かい指示がうまく通らない生徒に対しては、T2の先生がもっとカバーすべきと考えます。
- ・ 授業のテンポがよく、生徒たちは集中して取り組んでいました。視聴覚教材の内容が盛りだくさんで、学ぶ意欲の向上につながっていたと思います。板書にも流れが在り、ポイントが大変わかりやすいと思いました。
- ・ ほとんどの生徒が積極的に行動し、特別な役割分担をしなくても、準備・実験・片付けをテキパキと進めている姿が印象的でした。実験の成果に目を輝かせる、どうすればもっとうまくいくかを熱心に工夫するなど、興味関心の高さを感じました。

- ・ 3人グループの中で一人一人の役割がはっきりしていると感じました。班での活動は、頭がくっつくほどの距離で仲良く進められていました。
- ・ Dさんが、授業で使う付箋紙を当たり前のように休み時間から配っていたこと、また、Eさんの集中力のすばらしさなど、1時間の授業に無駄がないと感じました。
- ・ Fさんが、班内の話し合いのリーダーシップをとっていて、友達の発言内容への配慮を感じました。
- ・ クラス全体の落ち着いた雰囲気と男女の仲の良さが印象的でした。日本中の、どちらの県の先生方も、このクラスの担任になりたい、授業をしたいと思うことでしょう。授業後に、男子生徒と話をしました。福岡から来たことを伝えると、帰りは気を付けてくださいと話してくれました。とても心が温かくなりました。
- ・ 先生の指示や説明を受けて活動に入る際、返事ができるともっとよいと思います。活動はしっかりやっていますが、先生の言葉に対する反応が少ないと感じたので・・・
- ・ 先生の指示にスムーズに反応し、聴く・書く・読むの区別がしっかりできている生徒が多く、すばらしいと感じました。Gさんが先生の問いに対し、いち早く反応し、読み方は間違っていたものの、自然に受け応えできる関係はすばらしいと思いました。
- ・ 生徒の「歌が好き」という気持ちが伝わってきました。教師と生徒とのやりとりがとても自然で、日頃からの関係性のよさが見えるようでした。例えば、教師の「何か不安なところは？」に「○○の部分です。」と生徒が応え、「じゃーやってみるか！」など、とてもよい雰囲気でした。
- ・ 読みの練習では、ただ読むだけでなく、二人組であっても相手が聴き取りやすい声量や話し方を意識するとさらによい活動になると思いました。聴く側もそういった評価を相手に返すことが大切と考えます。
- ・ Hさんがグループ内の話し合いをリードして、アイデアをどんどん広げ、Iさん、Jさんのワクワクしたような表情が印象的でした。皆が一人一人の作品の意図をじっくり読みながら楽しそうに鑑賞していました。自由に鑑賞する時間であっても勝手な行動はなく、日常から一人一人が決まりを大切にする学級なのだろうと感じました。生徒の自己評価に観点が示されているところが参考になりました。生徒は、この観点を意識して制作や鑑賞を進めていると思われました。